

サイコロトーク1周目

単元の位置	1 SO	本時 2 SO	3 YT	4 YT	5 EC◎	6 EC◎	7 OH	8 OH◎
-------	------	---------	------	------	-------	-------	------	-------

前時：第1時 先生の自己紹介を聞き、ポスターを貼った／次時：第3時 たからものの言い方・たずね方ときくワーク

この時間を3行で

① 絵カードで好き・得意の言い方を練習し、班でサイコロトークを1周する

② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい

③ ○言えずに止まる型（1の町・学校など）を見つけ、全体で1回言い直す

本時の目標	好きなものや得意なことの言い方を絵カードで練習し、サイコロのお題に合わせて、I like や I'm good at などを使って、自分のことを1文ずつ伝えることができる。（知識・技能）
めあて	サイコロのお題で、自分のことを1文ずつ言おう
評価	本時は記録に残す評価を行わない（○21-33 言えずに止まっている型（全員を見渡す））

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド □ 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	あいさつ。教科書の歌（デジタル教材）。終わったらスライドショーを始める。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1
5-10 全体→ペア	帯：Small Talk①話題1 先生のたからもの（古いグローブ）の話を聞く→ペアで、たからものを1文ずつ（1分×2回・相手を替えて）。 S: My treasure is my bicycle.	〔台本①話題1〕 T Hello! Look at this. This is my treasure! T My treasure is this old glove. It's twenty years old! T I like baseball. I play every Sunday. T How about you? What's your treasure? Pair talk!（子：My treasure is my bicycle. / My treasure is my dog.） 進め方：ペアは相手を替えて1分×2回。1文で十分	▶S2-4〔台本①〕 ◆「ない」と言う子には、毎日つかう物や好きな場所でもよいと伝える ・値段は関係ないと、先生が先に言い切る
10-15 全体	絵カード16枚を、先生のあとについて文で言う（I like ～. / I'm good at ～. / My treasure is ～.）。	T 型：I like _____. ①soccer ②music ③dogs T 型：I'm good at _____. ①swimming ②drawing T 型：My treasure is my _____. ①bicycle ②book	▶S5-6〔絵カード〕 ・単語だけで言わず、文で言う
15-17 全体	めあてを読む。サイコロの目のお題で、自分のことを1文言う。	T 上手さより、全部の型を1回ずつ言えたら大成功。	▶S7
17-21 全体	サイコロトークのやり方を聞く（あいづちか質問を返すまでが1ターン）。今日は5の目も6と同じフリー。	T Roll the dice. Make one sentence! サイコロを振って、1文言おう。	▶S8-9〔活動シート1〕 ・5（やってみたいこと）は第4時から。今日は5も1～4から選ぶ ◇先生が1人でサイコロを振り、1ターンを見せる
21-33 3～4人班	サイコロトーク1周目（12分）。言えたら行にチェック。パスは1人1回まで。 S: I like dogs. → Me, too!	T Talk in your group. 班で、サイコロトーク。	▶S10-11〔活動シート1〕 ○言えずに止まる型を覚えておく（記録しない） ◆止まった子には絵カードを1枚渡し「このカードで1文」
33-37 全体	言いにくかった型を1つ選んで、全員で言い直す（たとえば1のI'm from ～.）。	T 言いにくかったのはどれ？ みんなでもう一度。 T 型：I'm from _____. ①Midori Town ②Sakura Elementary School	▶S12 ・町でも学校でもよい（配慮②）
37-45 全体→ひとり	振り返りカードの毎時間の欄に1行。活動シート1は第4時まで集めておく。	T どの型が言えたかな。 T Good job! See you! よくがんばりました。	▶S13-14〔振り返りカード〕 ⇒2

第2時 評価・板書・準備（前の日に読む面）

評価 本時は指導に生かす評価

本時は記録に残す評価を行わない。
○21-33 言えずに止まっている型（全員を見渡す）→33-37 で、止まった型を全体で1回言い直す（その場の手立て：止まった子に絵カードを1枚渡し、「このカードで1文」とお題をしぼる）
評価に入れないこと：チェックの数・クリアしたか／I'm good at swim. のような形のまちがい／好きなこと・得意なことの身／声の大きさ・目線・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

37-45 ・活動シート1は第4時の2周目と第8時（待つ班）でも使う

板書計画

左	中：会話の型	右：Small Talk の1文
日付・第2時 めあて	I'm from I like I'm good at My treasure is (聞く人) Nice! / Me, too! / Why?	My treasure is ~. I like ~. (glove の絵カードを貼る)

黒板の横：キーフレーズポスター（第1時から）
テレビ（映すだけ）：サイコロトークのやり方・ルール（映すだけ）
書かないもの：クリアした人の名前・数／児童の名前

ALT

いるとき：・Small Talk は台本どおり先生が話し、ALT はペアで止まった組の相手に
・絵カード16語の発音のお手本
いないとき：・Small Talk は台本どおり先生1人で
・絵カードは先生が言う

ALT に頼まないこと：Please don't ask how much students' things cost. Please don't correct forms like "I'm good at swim." during the activity.
評価は担任がします。ALT に記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：たからものは、もの・人・場所・時間のどれでもよい。値段は関係ないと先に言う。物は持ってこさせない
くらべる：クリアした人やその速さを数えない・立たせない
目立つ：パスは1人1回まで。止まった子は絵カード1枚で1文を言って終える（失敗で終わらせない）
単元計画の配慮③：得意なことが出ない子は「好きなこと」で代替してよい（I like で十分に伝わる）
単元計画の配慮④：英語が出ない子は絵カードを指す＋単語1つから。言えた文の数はくらべない

時間が足りないとき

削る順：①Small Talk のペアは1回で終える
②全体の言い直し（33-37）は飛ばし、振り返りへ（▶S13へ）
削らないもの：サイコロトーク1周目（21-33）
前の時間が終わっていないとき：第1時のポスター掲示がまだなら、10-15 のはじめに貼って上下を確かめる

準備物

- ☐ [Small Talk台本①] 先生用1部
- ☐ [絵カード] 提示用1部＋班数分
- ☐ [活動シート1] 人数分（第4時の2周目でも使う）
- ☐ サイコロ（なければ1～6の番号カード） 班に1個
- ☐ [キーフレーズポスター] 掲示
- ☐ [振り返りカード] 人数分（単元を通して同じ紙）